

お宝 No.19 尻屋崎灯台 (東通村)



2020年4月16日撮影

東北最初の洋式灯台、尻屋崎灯台

尻屋崎灯台は、海上交易に活路を見出した斗南藩が政府に請願して建てられた灯台です。銚子ジオパークの犬吠崎灯台とよく似ており、ともに日本の灯台の父と言われるR・H・ブラントンの設計です。

日本の灯台50選などに選ばれています。

尻屋崎灯台(しりやさきとうだい)の情報

- 所在地 青森県東通村尻屋字尻屋崎 1-1
- 交通 JR下北駅より車で約50分
- 駐車場 あり
- 尻屋崎は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため5月6日まで閉鎖予定です。
最新の情報は東通村HPをご覧ください。

推進員ごあいさつ

この春ジオパーク推進員に着任しました、北川桐香(きたがわきりか)です。小さい頃に好きになった宮沢賢治と、生まれ育った下北の豊かな自然に影響をうけて地球科学に興味をもち、田名部高校卒業後は、山形大学理学部で地球科学を学びました。大学では、アフリカ・エチオピアで玄武岩の研究をしていました。岩石採取のため現地調査に毎年行っていたので、エチオピアの言葉をちょっとだけ話すことができます。

地元ではありますが、下北のことはまだまだ知らないことばかりです。下北の大地や動植物、文化など、たくさん教えてください！ちなみに、下北の好きな景色・場所は、今回紹介した尻屋崎灯台です。

専門分野を活かしながら、みなさんと一緒に下北ジオパークを盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！



エチオピア調査の様子

サイト再整理報告

下北ジオパークでは、2016年の認定時に地質地形の見どころを含めた範囲を『ジオサイト』として16箇所設置して、これまで活動を行ってきました。

しかし近年、日本ジオパークネットワークではサイトに関する考え方や名称を統一しようという動きが進んでおり、下北ジオパークでもこの新たな考え方に沿って1年間サイトの見直しを行い、それぞれの特徴を踏まえ、下記の3つに細分化し、53のサイトが設定されました。大地と自然や文化のつながりを感じられるまとまりを『エリア』と呼ぶこととし、下北ジオパークは18のエリアで構成されます。

ジオサイト (29箇所)

保全の対象とでき、研究成果が整理されているか、教育的・観光的に活用される、地形・地質にどんなことが起こったか分かる一定の範囲

自然サイト (4箇所)

地形・地質・土壌・風土と密接に結びついた貴重または特徴的な生態系あるいは生物種がみられる一定の範囲

文化サイト (20箇所)

地形・地質・土壌・風土などを生かした人の営みを感じられる一定の範囲

エリアとは？ ～ 脇野沢・鯛島エリアのストーリーからひも解く ～

海底火山の噴火によってできた鯛島
陸奥湾は浅い砂泥底、冷却された対馬海流が流れ込む

ジオ

脇野沢には坂上田村麻呂と村の娘の悲恋伝説が伝わる
鯛島周辺の海藻は娘の髪の毛といわれ、獲るとヤマセや大時化が続くと言われ、今でも漁を避けている

文化

穏やかな藻場が茂り、魚たちにとって過ごしやすく、
産卵しやすい環境が広がっている
穏やかで豊かな海に様々な海洋生物が回遊してくる

自然



鯛島

地域に根づいた文化や自然等がジオに基づいている・つながっていることを感じる場所、それがエリア！

だからタラをはじめとした海の資源が豊富！

編集後記

日に日に春の陽気を感じる、心地よい季節となってきました。春は別れの季節ではありますが、同時に出会いの季節。事務局も、新たなメンバーで今年度も頑張っていきます。

今月号では、サイトやエリアについて紹介いたしました。次号以降も、様々な活動・見どころの紹介をしていきたいと思っております。今年度も通称ジオパーク通信をよろしくお願いたします！

【発行元・お問い合わせ】

下北ジオパーク推進協議会 事務局

☎0175-22-1111 (むつ市ジオパーク推進課内)



公式 HP



facebook

下北ジオパーク

検索